

学位論文内容の要旨

学位申請者	<p style="text-align: center;">松尾 由美</p> <p style="text-align: center;">【人間発達科学専攻 平成18年度生】</p>	要 旨
論文題目	インターネットを活用した国際交流による偏見低減効果	<p>インターネット上で国際交流を行う実践的な取り組みはこれまでも行われているが、統計的な検定を用いた有効性の検討はほとんど行われていない。本研究は、インターネットを介した国際交流、特に、先行研究で多く行われてきた協力や自己開示を経験させる交流が偏見低減効果を持つのかを検討することを第一の目的とした。また、これまでの交流の多くは学校の授業など、外国人との交流を支持する枠組の中で行われてきた。このような枠組のない自然場面におけるインターネット上の交流でも、偏見低減が起こるのかを検討することを第二の目的とした。研究1では仮想空間で協力し合う交流、研究2では翻訳チャットで自己開示し合う交流の効果を実験室実験により検討した。また、自然場面での効果を検討するために、研究3では仮想空間での協力経験、研究4では自己開示の機会が多いSNSでの交流経験による偏見低減効果を縦断調査により検討した。その結果、インターネット上で外国人と協力を経験するよりも、自己開示し合う交流の方が偏見低減に有効であること、自然場面での交流よりも、実験室実験のように交流を支持する枠組のある方が偏見低減効果を持つことが示された。しかし、なぜ、どのようにこのような交流が偏見低減効果を持つのかは不明瞭である。今後の研究では、インターネットを介した国際交流の偏見低減プロセスを検討することで、さらに効果的な交流を提案することが期待される。</p>
審査委員	(主査) 教授 坂元 章	
	教授 内藤 俊史	
	教授 大森 美香	
	准教授 上原 泉	
	教授 森山 新	